

美浜3号炉事故の報告は、やはり おかしい 貴社にはもはや原発を動かす資格はありません。 原発の運転をやめてください

若狭連帯行動ネットワーク

電力自由化の波にさらされる貴社は、原発の経済性を最優先させ、定期検査期間の短縮に躍起となり、長期連続運転をした結果、美浜3号炉事故を起こしました。

3月に出した美浜3号炉事故の報告では、「配管が破断するまで、点検漏れも、余寿命がマイナスになっていることも知らなかった」という前提で作文されていますが、そんなことは絶対にあり得ないことです。

貴社から請け負っている日本アームは、2003年4月に点検漏れを発見し、貴社の担当者に相談したことをマスコミに明らかにしています。そこで、貴社は、5月からの定期検査では点検せず、1年以上後の次回定期検査で点検することを決めたのです。また、美浜、高浜、大飯の貴社の3原発に、日本アームの技術社員6～8名を常駐させ、貴社の担当者との間で日常的に相談しており、貴社は定期検査計画書作成の際に、点検箇所や予算などを示したというではありませんか。

点検漏れを知って、すぐに止めなかったのは、安全より経済性を優先させたからではありませんか。美浜発電所の小門晃次長は、事故当時「破損部前後の曲がり部分を点検してOKだったため、大丈夫だと思った」と、マスコミに弁明しています。そして、美浜発電所の課長は「運転を止めてまでとは考えていなかった」と、述べ、経済性を最優先する貴社の姿勢を語っていたではありませんか。

貴社は昨年8月3日、福井県、美浜町、敦賀市に8月14日から始まる第21回定検計画を事前に説明し、破断した2次系復水配管を含む点検対象抜け落ちの2系統の配管の点検と取替をリストアップしています。しかしながら、このときに、発電所現場では、大飯1号の減肉問題を受け、破断した配管の点検漏れを初めて発見したというふうに報告書には書いています。こんなつじつまの合わないことはありません。誰が読んでもおかしいと思うことを平気で書いている貴社の態度にあきれかえるばかりです。貴社は配管の余寿命を評価せずに、何を根拠に次回定検の点検リストを承認したのでしょうか。

貴社には、原発の経済性を最優先させ、定期検査期間の短縮、長期連続運転する「社風」がはびこっているのです。

本日 私たちは、次のことを再度強く申し入れます。

- ・ 事故続きの美浜発電所の施設を閉鎖すること。
- ・ プルサーマル計画を中止し、撤回すること。
- ・ 使用済核燃料を六ヶ所再処理工場に搬出しないこと。日本原燃にウラン試験中止と工場閉鎖を求めること。
- ・ 敦賀3・4号増設計画そのものの中止を日本原電に勧告すること。派遣社員を引き上げること。
- ・ 使用済み核燃料の中間貯蔵施設計画をやめること。
- ・ 長期連続運転、昼夜突貫の工事、定検項目の削減などによる定期検査の短縮等を中止すること。
- ・ 国の原発計画地の指定解除になった日高・日置川原発計画を白紙撤回すること。